

# 漢字・語彙学習支援の取り組み

- 語彙を広げるために -

今村美智子／カルメンシータ ケオラニ C ビスカラ／石田英明  
マニラ日本文化センター

## 基本情報

実施機関名	国際交流基金マニラ日本文化センター
実施コース名	Marugoto 中級 B1 Module 2 レベル : B1 全部で9つあるトピックのうち、トピック 1~2 を Module 1、トピック 3~4 を Module 2、トピック 5~6 を Module 3 とし、Module 3 までをパイロットコースとして実施
実施期間	2016年7月26日~11月8日
授業時間	120分@1コマ、1回x14週=14回 全Module、授業時間は同じ
授業担当講師	今村美智子, カルメンシータ ケオラニ C ビスカラ, 石田英明
1クラスの学習者数	10人
学習者の属性	性別 : 男性2名、女性8名 年齢 : 20代7名、30代2名、40代1名 職業 : 社会人10名
使用教材	『まるごと 日本のことばと文化 中級 B1』(試用版)

## 1. 実践背景

### 1.1 これまでの状況

国際交流基金マニラ日本文化センター(以下、センターと略記)では、『まるごと 日本のことばと文化』(以下『まるごと』と略記)の開発に伴い、2012年に入門 A1 コースを開始した。それ以降、順に上のレベルのコースを開講し、2016年には中級 B1 のパイロットコースを開講した。

当センターでは、民間の日本語教育機関と競合しないよう、入門 A1 と初級 A2 では「かつどう」のみを使用している。ローマ字で気軽に楽しく日本語を学ぶというコンセプトで、入門 A1 コースを実施し、文字を学習したい人のために、初級 A2 の前段階として、文字コースを開講

している。このコースは、ひらがな、カタカナ、入門 A1 の漢字を学習する内容になっている。初級 A2 では、漢字は基本的に自己学習とし、授業内で漢字を取り上げるのは、初中級 A2/B1 に入ってからである。初級 A2 での漢字学習の評価の比重が極めて低いためか、学習の必要性を感じていない学習者もいる。大半の学習者は、初中級 A2/B1 に入り、教科書中の振り仮名の少ない漢字の多さに戸惑い、漢字学習の必要性を強く意識し出していると思われる。

なお、外部機関で日本語を勉強した経験のある学習者は、各レベルとも、1 クラス(10-16 名)に 3 名前後、編入している。初中級レベルの漢字の成績を見る限り、どちらのグループも日本語学習に対する目的意識がはっきりしている学習者ほど、漢字の成績がいいという結果が出ている。

## 1.2 Module 1 での実践と漢字・語彙学習についてのアンケート調査

まるごとの各コースでは、コース開始前にどうしてこのコースに参加するのかという自己目標の設定を実施している。「Marugoto 中級 B1 Module 1」開始時には、外部編入者を含め、多くの学習者が「会話の上達のために語彙を勉強したい」と記述している。一方、教師としては、このクラスは、読解にとっても時間がかかることが気になっていた。CD を何度か聞かせて意味の把握ができていない内容でも、その同じ文章を読ませると時間がかかってしまう。これは、新しい漢字・語彙が多くあるため一度に覚えきれず、確認、整理をしながら文章を読んでいるためではないかと思われた。

そこで、『まるごと B1』の教科書を使用するためには、漢字を含めた語彙力の向上・定着を図る必要があること、また、学習者自身が自律学習を進めるため、多様な学習方法を知ることが必要と考えた。

Module 1 では、授業中における実践として、新出語彙を使用した再話や要約を試みた。語彙は繰り返し使用することで定着するということを念頭に、絵や写真を見て、新出語彙を使用して、前回の授業で扱ったストーリーを話させたり、料理の順番を説明させたりした。また「漢字の時間」を設け、教科書中の「漢字のことば」欄の漢字を取り上げ、グループ分けによる熟語の整理を実施した。授業外の学習の手助けとしては、後述する漢字シートを配布した。また、学習に必要なアプリやツールを紹介し、学習者同士で、漢字・語彙の勉強方法を話し合う機会も設けた。

また Module 1 後半には、学習者の学習方法や実態を把握するために、漢字・語彙学習についてアンケート調査を実施した。調査対象者は中級 B1 コースの 10 名である（アンケート調査の結果は、表 1 参照）。それによると、過半数の学習者は、「漢字が大好き」、もしくは「好き」であるが、漢字学習は難しいと感じていることがわかった。また、漢字・語彙の学習については、「語彙リストを読んで暗記する」「教科書の文を何度も読む」「何回も書いて覚える」など、リ

ストをひたすら読んだり、書いたりする方法が上位を占めていた。学習意欲はあるものの、学習方法が限定されているために学習が続かない、もしくは意味の予測につながらないということが考えられた。

表1 漢字・語彙学習についてのアンケート調査の結果

Q1 漢字は好きですか。

大好き	4
好き	2
普通	3
あまり好きではない	0
嫌い	0
無回答	1

Q2 漢字学習は難しいですか。

難しい	7
難しくない	2
無回答	1

Q3 どうやって漢字・語彙の勉強をしていますか。(複数回答)

語彙リストを読んで暗記する	7
教科書の文を何度も読む	4
何回も書いて覚える	4
語彙ノート・カードを作る	4
暗記のアプリを使う	3
ドラマ・映画を見てフレーズとして覚える	2
新しい言葉を使って話す	1
新しい言葉を使った文章を書く	1
その他*	2

\*漢字・語彙の練習本を使用する(1)  
雑誌の知らない漢字・語彙を調べる(1)

### 1.3 Module 1で残された課題

Module 1の終了時には、「沢山の漢字を少しずつ理解できるようになってきた」「知らない漢字を見てもパニックにならなくなった」等、漢字に対する恐れが減ったという声があがった。しかし、その一方で、「会話の際、なかなか言いたい語彙が出てこない」「文章を読むのが難しく、漢字の意味を考えることに意識が集中してしまう」「自分のブログを書くには、もっと語彙を勉強する必要がある」など、学習者自身が、漢字・語彙の知識増強の必要性を更に強く感じていた。

Module 2の開始時でも、多くの学生の関心は、引き続き、会話力の向上であった。自己目標にも、「語彙を多く学び、自分の言葉で言い表したい」等、記述している。つまり、学習者は、新しい語彙を自由に使い、自分で表現する力を身につけたいと願っていることがわかる。使える漢字・語彙を増強させることは、学習者の日本語によるコミュニケーション能力を伸ばす上で、重要だと思われた。

これら学習者のフィードバックと前述のアンケート調査をもとに、会話・読解につながる語彙能力を伸ばすために、漢字・語彙の学習の支援策について、チームで以下のことを話し合った。

(1) 教科書の語彙の整理と定着：中級の教科書では、多くの新出漢字・新出語彙があるので、

学習者が必要なものを整理しながら習得できるように働きかける。

- (2) 意味推測につながる漢字知識の向上：中級以降の語彙力を伸ばすためには、漢字語彙は欠かせないと思われる。漢字語彙を構成する個々の漢字についての形（パターン、部首など）、読み方（音、訓など）、意味（同義語、対義語など）に関する知識を広げることができるよう支援する。既知の漢字と関連付けて整理するよう働きかけ、熟語の意味推測を促す。
- (3) 学習方法の体験：個人が持っている学習ストラテジーを尊重して、自分にあった学習方法を自由に選択できるよう、学習方法を知る機会を提供する。
- (4) 教科書以外の語彙の取り込み：『まるごと』の授業のトピックを元に、表現したい語彙を教室内外で広げていけるよう促す。

これらの目標をもとに、Module 2 でも、漢字・語彙の学習を支援する活動を継続した。本稿では、Module 2 で追加・改善をし、重点的に実践したことを報告する。

## 2. 実践内容

Module 2 で重点的に実践したのは、授業中の「漢字の時間」の使い方と学習プリントの工夫である。授業の中で漢字を学習する時間を設け、漢字の整理と意味推測を促す活動を実施した。また、各種の学習プリントを導入し、授業外の補助活動とした。以下、詳細を述べる。

### 2.1 漢字の時間

授業の中で「漢字の時間」を設け、「漢字のことば」を学習した。表 2 のとおり、Part 4 の「読んでわかる」と Part 5 の「書く」の授業時に各 10 分程度の時間を「漢字の時間」に充てた。Module 1 で実施した部首別分類や対義語の学習内容に加え、漢字の意味を推測する活動を行った。「漢字のことば」をもとに、その関連した熟語や表現をゲームのように次々と学生から引き

表 2 漢字の時間

1 ト ピ ク	準備・聞いてわかる
	会話する
	長く話す
	読んでわかる (漢字)
	書く (漢字)

出して白板に書き、最終的にその漢字の意味を再確認した。中級レベルでは、知らない漢字・語彙の意味を推測する力が必要とされる。知っている熟語の整理、並びに一つ一つの漢字の意味を明確にすることで、今後、新出熟語に出会った際に、意味推測が容易に行えるようになることを狙いとした。

また、「書く」授業では、「読んでわかる」の復習として、ウェブサイトから、教科書と同様のトピック記事を選び、それを皆で読みながら、文中における漢字語彙の意味推測をクラスで行った。前後の文章や既習の漢字から、意味を推測する練習であるが、学習者は、積極的に参加していた。この活動では、トピックに関連する語彙を増やすことも考慮した。

## 2.2 学習プリント

今回、学習者が授業外で使った学習プリントは、①漢字シート・語彙マップ、②語彙ワークシート、③語彙チェックリストの3種である。それぞれの目的・使用方法をここで述べる。

### 2.2.1 漢字シート・語彙マップ

漢字語彙の定着を図るために、初中級 A2/B1 で開始し、好評だった漢字シートを一部改良し、取り入れることとした。プリントは A4 サイズの両面刷りである(資料1、資料2を参照)。

内容は各トピック共通で、「漢字のことば」の読みと意味、その漢字を用いた文、その漢字を使用した語彙をそれぞれ、調べて記入するようになっている。Module 1 では、新しい漢字を使用して、文章を作成させていたが、間違った文章を作成する学習者も多く、その間違いを説明する手段が限られるため、Module 2 では、こちらが作成した文章を読ませるようにした。

裏面には、教科書の設問を取り上げた。トピック1「はじめての人と」では、「職業の言葉を調べてみましょう」という設問が教科書にあった。担当教師は職業そのもの、例えば、医者、大工などを期待していたが、何人かの学習者は、自分の仕事に関係のある語彙を調べてきた。例えば、事務職の者は、「日付、領収書、申し込み、調査」などである。これを見て、中級レベルになると、学習者が修得したい語彙は、学習者一人一人かなり違ってくることに気付かされた。そこで Module 2 からは、トピックに関連することで、自分が知りたい語彙を調べて書けるように設問を加えた。例えば、トピック3「私の好きな音楽」では、「好きな歌手/グループについて関連のある言葉を調べましょう(その魅力・好きな理由)」という設問である。学習者は、「詩的、天才的、立派な」など自分が表現するのに必要な語彙を集めていた。そして、これらの語彙は、日本語で話すとき、自分にとって必要な表現をメモする、教科書中の「私だけのフレーズ」欄につながるようになった。この漢字シートは基本的に、Eメールで学習者に送り、タイプをして教師に送り返す方法を取った。

トピック4「温泉にいこう」では、この追加設問部分を、「旅行」から始まる語彙マップ<sup>(1)</sup>を作成する形を取った(学習者が作成した語彙マップのサンプルは、図1、図2参照)。別紙に、旅行から始まる語彙マップを作成、後日の授業で、各自が作成したマップを持ち寄り交換して、お互いに知らない語彙を拾い上げ、学習者同士で学習する機会を作った。最後に各自がその中から今日覚えて帰りたい語彙を発表した。「乱気流・記憶・口座・独逸」などユニークな漢字語彙が挙げられていた。学習者が語彙の整理方法を学ぶことを目的として体験させたが、その日の感想には、学習方法についてのコメントは見られず、「楽しく新しい漢字を勉強できた」、「普段使わない語彙を勉強できた」など、学習結果に着目した記述ばかりであった。



### 2.2.2 語彙ワークシート

前述したように、Module 1 では、新出語彙を使用して教科書の内容についての再話や要約をするよう努めた。しかし、教科書の内容を話すだけでは、決まった言い回しだけの練習となってしまう、表現の幅が広がらない。いろいろな運用力をつけるには、これだけでは不十分と考え、Module 2 では、語彙の使用方法を練習できるように、宿題を出すことにした。1 トピックを6 回に分けて授業を実施したが、毎回 A4 サイズ、両面刷りの宿題を1 枚出し、そのうち3 回を語彙の練習にあてた。新出語彙を定着させるよう、文章の中での使い方・コロケーションを確認する問題などを選択解答式にしている。また、漢字・助詞の使用法や作文も併せて練習する内容になっている。語彙ワークシートの詳細は、資料3 を参照のこと。

### 2.2.3 語彙チェックリスト

当センターにおける『まるごと』の授業では、どのレベルでも語彙表といったものは配布していない。オリエンテーション時に語彙インデックスがダウンロードできるウェブサイト<sup>(2)</sup>を紹介して、後は学習者の自己学習としている。しかし、実際には、ダウンロードして使用している人は少ない。そこで、Module 2 から、自分に必要な語彙を選択的に覚え、確認できるように、各トピックに出てくる新出語彙から、固有名詞を外したものを語彙チェック表にして配布した。これは、知っている語彙にはチェックをつけ、知らない語彙のみ自分で意味を調べて、記入するようになっている。語彙ノートや単語帳を作らない学習者への学習方法の紹介として導入した。また、新出語彙だけでなく、自分が知らなかった語彙・興味のある語彙も書き加えることができるようなスペースを設けた。語彙チェックリストの使用は学習者の自由裁量に任せ、提出させていない。語彙チェックリストの詳細は、資料4 を参照のこと。

## 3. 実践の成果

コースで実践した内容について、最終日にコース終了時アンケートを実施したが、漢字・語彙学習が学習者にどのような影響を及ぼしたか、より詳しく知るために、コース終了後アンケートを追加で実施した（アンケート票の詳細は、資料5、資料6 を参照のこと）。これらのアンケートをもとに、今回の実践の成果を以下の4 点について述べる。

### 3.1 教科書の語彙の整理と定着

Module 2 の最終テストにおける語彙と漢字テストの成績は非常によく、20 点満点中、平均値は19.3 点（96.5%）であった。内容は、漢字の読み、正しい漢字の選択、文中の語彙の選択の3 種類である。語彙ワークシートと語彙チェックリストについて、ほぼ全員から役に立ったという回答を得た。アンケート結果の詳細は、表3 を参照のこと。

表3 コース終了時アンケート

語彙ワークシート		語彙チェックリスト		漢字シート	
大変役に立った	9	大変役に立った	8	大変役に立った	9
役に立った	1	役に立った	1	役に立った	1
あまり役に立たなかった	0	あまり役に立たなかった	1	あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0	役に立たなかった	0	役に立たなかった	0

社会人の学習者にとって、語彙ワークシートなどの宿題は負担ではないかと心配しながら実施したが、提出率は良好であった。「ポートフォリオの中に入れてみたいものは、一番がんばった語彙ワークシート」と回答した者もいた。「量は少ないが、語彙の使い方がよくわかる」「使い方の練習ができる」「言葉の知識があがる」などのコメントがあった。また語彙チェックリストについては、「このような表があると、どんな語彙を自分が知らないかはっきりして、調べることができる」「語彙を覚えやすい」「忘れた時に簡単に確認できる」などのコメントを得た。しかし、その一方で、あまり役に立たなかったと回答した者も1名いた。この学習者は、「語彙チェックリストは使用しなかった」と記述しているが、語彙と漢字のテストは満点だった。フラッシュカードを使用して日頃から予習をしてくる学習者なので、既に学習方法が確立していたと思われる。

### 3.2 意味推測につながる漢字知識の向上

漢字語彙を構成する個々の漢字についての形、読み方、意味に関する知識を高めるために、漢字シートを使用し、「漢字の時間」を設けた。

漢字シートについては、漢字の読み方・意味だけでなく、その漢字を使用した漢字語彙を増やし、整理することも狙いとした。学習者からは、「漢字の整理と練習ができる」「簡単に漢字を復習することができる」など役に立ったというコメントが聞かれた(表3参照)。また、授業中の「漢字の時間」については、「熟語を作る一つ一つの漢字の意味を確認して勉強になった」「読みはむずかしいが、漢字の意味を推測できるようになった」という声があった。しかし、他の学習者から「訓読みと音読み両方覚えるのが難しい」「使用中のアプリでは漢字は思うように覚えられない」など、Module 1同様に、漢字学習は難しいというコメントもあった。

「文章を読んでいて、知らない漢字があったらどんな気持ちになりますか」という質問に、過半数の学習者が、自分の力で意味を推測したいと回答している(表4参照)。しかし、知らない漢字であっても、文を読み進めれば多少意味が分かるだろうと楽観的にとらえたものは、全体の半数であった。



開講当初、教科書中に見かけない漢字語彙があると、自分の力で意味を考えず、すぐ辞書を引きたがる学習者が散見された。そこで文章を読む際、特に「準備」と「読んでわかる」の間では、授業中の辞書使用を禁止した。わからない語彙があっても、まず文章の大意を掴み、その後、音声で漢字の読み方を確認、最後に漢字語彙の意味を推測するように指導した。コースの終わりには、全員がそのスタイルに慣れたように感じた。「文章の前後関係から、ある程度、知らない言葉の意味は推測できる」とコメントした学習者もいた。学習者は、例えば、意味の分からない漢字熟語に遭遇した場合、構成する単漢字についての知識を使用して文脈と照合したり、熟語の読み方を推測し既知の語彙と結びつけたりすることで、その意味を推測していると思われる。よって、漢字語彙や漢字熟語の意味推測には、個々の漢字についての総合的な知識が必要と考えられる。漢字知識の広がりによって、少しでも意味を推測してみようという学習者の態度が生まれたのではないだろうか。

表4 コース終了後アンケート

文章を読んでいて、知らない漢字があったらどんな気持ちになりますか（複数回答）

学生	辞書で調べたい	わからない漢字を飛ばして読み続けたい	漢字の意味を推測したい	多少、漢字の意味が分かると思う	読むのをやめたい
B	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
C	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
D	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
E	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
F	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
G	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
H	<input type="radio"/>				
J	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

学生A,Iは無回答

### 3.3 学習方法の体験

多くの者が、「漢字や語彙の学習についてのアイデアをクラスで得た」と答えている。ある学習者は新しいアイデアとして、漢字や語彙のリストを作ることを挙げている。この学習者は、Module 1 では、特に語彙帳は作成していなかったが、リスト化することにヒントを得たようである。漢字を苦手とする別の学習者は、「同じ漢字を使用した熟語のグループを作ることが勉強に役だつ」と回答している。また、フレーズとして覚えるなどの学習方法も挙げた。

しかし、「語彙チェックシートは役に立ったが、できれば意味が書かれた語彙リストが欲しい」と、語彙チェックシートを、学習方法を学ぶ手段としてとらえていなかった学習者もいた。

### 3.4 教科書以外の語彙の取り込み

学習者全員からは、「自分の使いたい語彙を増やすことができた」「楽しく新しい語彙を増やすことができた」という声が聞かれた（表5参照）。

表5 コース終了時アンケート

自分の使いたい新しい言葉を増やすことができたか

大満足	9
満足	1
やや不満	0
不満	0

各トピックの最後に、教科書中の「教室の外へ」欄の話題を元に作文を書かせ、添削指導を実施した。クラスメートの作文を互いに読めるよう、作文は教室内に掲示した。その学習者の提出した作文を見ると、トピック3「私の好きな音楽」では「紅白歌合戦、無意識、個人的に、燃え上がる、初出場、儂い」、トピック4「温泉に行こう」では、「湯治場、無邪気、降り注ぐ、壮大な」など、教科書以外の多くの語彙が使用されていることに気が付く。

開講当初、会話が上達したいという学習者の希望があったが、コース終了時には、「前より自信をもって話すことができるようになった」「たくさんの新しい言葉を使って話せるようになった」「自由にたくさん話すことができた」と学習者の満足感や自己評価は高い。必要な語彙がそろえば、Can-doが達成でき、自分の表現したいことが言えるということだろう。学習者は、会話力が向上したと自覚しており、会話のパフォーマンステストでは、38点満点中、学習者の平均値は34.4点（90.5%）であった。パフォーマンステストや授業中のアクティビティーでは、「天才的、格好、依頼」など自分で調べてきた語彙を使用する姿が見られた。

読解力については、コース終了時でも読解に時間がかかり、あまり向上が見られないように思われた。しかし、学習者自身は、「初めて読む文は難しいと感じるが、何回も読むとわかってくる」「全部の言葉がわからなくてもなんとか短い文は読めるようになった」など以前より、読解力が向上していると自覚している。読解テストでは、26点満点中、学習者の平均値は22.8点（87.7%）であり、内容はほぼ理解できていた。教師側は読解の速さに注目し、あまり進歩がないと感じていたが、学習者は、速さではなく、理解度の上達を重視し、満足していた。

## 4 学びと課題

### 4.1 教師の学び

#### 4.1.1 漢字の時間・漢字シート

授業の中で漢字を取り上げたのは、Part4「読む」とPart5「書く」の授業時だった。しかし、漢字語彙の学習は、「読む」「書く」の授業に限られるべきではないだろう。各トピックの前半であっても漢字語彙を導入し、学習者が、いろいろな活動やタスクの中でより多く接触できるようにすることが、学習効果を上げることに繋がるのではないか。週に1回しか授業がないので、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の全ての活動の中で、繰り返し漢字語彙を使用すること

が必要である。今回、1つのトピックを数人の教師で分担したが、自分の担当分だけでなく、トピック全体を見て、いつ、どのように漢字学習を実施するか、もう少し詳細な打ち合わせが必要であった。

#### 4.1.2 手書きとタイプ打ち

『まるごと B1』の教科書では、キーボードで入力する練習を推奨している。今回、漢字シートや作文プロジェクトはタイプ打ち、語彙ワークシートは手書きとした。しかし、語彙マップと合わせた漢字シートの際は、漢字シートも手書きとした。提出されたものを見て、学習者は、手書きで漢字を書く機会がほとんどないことに改めて気が付いた。最終テストで語彙・漢字の評価が低かった学習者の手書きの文章のなかに、「予定」の「予」が「了」と書かれたものが見られた。コンピューターでは簡単に漢字変換できるのに、手書きだと形が危うくなってしまふ。正しい形を覚える為に、書く練習をすることも効果的だと思われる。その意味で、漢字シートは手書きのほうがよいだろう。学習者の手書きとタイプ打ちのバランスは、その目的によって変える必要がある。

#### 4.1.3 宿題の目的周知

中級クラスでは、宿題は特に評価の対象としていないが、学習者の提出状況はとても良かった。しかし、中には、提出することを第一に考え、内容がおざなりな学習者もいた。ある学習者は、漢字シートの調べる部分を空欄で提出していた。しかし、クラスアクティビティーでそれが必要である事を説明すると、実施してきた。これは、教師がなぜこの宿題をやるのかという目的を明確に提示しなかったからだと思われる。この宿題をやるとうどう役立つのか、その宿題の目的を提示する必要がある。

#### 4.1.4 学習者同士の学び合い

学習者同士の学び合いが、漢字・語彙学習においても効果的であると気づかされた。「話す」活動では、語彙を教え合う機会があり、「書く」活動においては、自分が書いた文章をクラスメートと見せ合う際に、自分の誤字や語彙の誤用などを教わる機会がある。学習者からも、「わからない言葉を教えてもらった」「新しい形容詞や仕事で使う言葉を知る機会があった」など、クラス活動の中で、クラスメートから語彙を学ぶことが多々あったとコメントしている。また、語彙マップを使用した活動では、お互いに教え合う楽しさが、効果的に働くと感じた。

### 4.2 今後の課題

今回、中級 B1 に焦点を当てたが、『まるごと』を教える上で、漢字・語彙の問題は、中級

B1 だけにとどまらず、入門 A1 から支援をする必要性を感じた。気楽に・楽しく会話を学習することを前面に出して、まるごとコースを実践してきたが、継続して日本語学習をしていく人のためには、各レベルにおいて、漢字・語彙の自律学習ができるような積極的な工夫が求められている。『まるごと』の「かつどう」は漢字に焦点をあてた学習ではないので、学習者も教師も問題点に気付きにくい。しかし、早い段階から、自分に合った学習方法を身につけられるよう、それを体験し、知ることが大切と思われる。初級では、漢字の形、読み方、意味などを正確に理解できるように、初中級では、漢字・語彙を整理するなどの学習方法を知ることができるように、更に中級では、各種のツールを使用して、自律的に増やせるようにサポートをする必要があるだろう。

当初は、漢字・語彙の問題は、「かつどう」のみを学習し、学習初期に漢字を指導されなかった当センターの学習者の問題とっていた。しかし、外部から入ってきた学習者にも同様の問題が見られることから、これはフィリピンの中級学習者の共通の課題であることにも気が付いた。漢字力・語彙力を高める為、各レベルでの働きかけが必要とされている。

#### [注]

- (1) ある言葉を中心に連想される語彙を、様々な関連付けでとらえ直し図式化する。語彙の広がりや記憶を促進する活動。
- (2) まるごと 日本のことばと文化 <https://www.marugoto.org/>

#### [参考文献]

- 国際交流基金（2011）『国際交流基金 日本語教授法シリーズ 第3巻 文字・語彙を教える』 ひつじ書房
- 坪根由香里・鈴木理子・阪本史代・神谷道夫（2001）「学習者から見た効果的な語彙の指導法・学習法 - アンケート結果より -」 小出記念日本語教育研究会論文集 9、107-128

資料1：学習者が提出した漢字シート 表面（A4 サイズ、両面刷り）

まるごと 日本のことばと文化 中級 (B1) モジュール2 トピック3 (p.84)				
名前 ( )				
漢字のことば	意味	ことばの読み方	例文を読みましょう	Other words with same 漢字
友達	friend	ともだち	友達といっしょに、買い物に行く。	友子、達成
誘う	to invite	さそう	友達をコンサートに誘う。	誘拐
～県	prefecture	けん	埼玉県に、JFの研修センターがある。	県道
曲	piece of music	きょく	どんな曲が好きですか。	作曲
感じ	feeling	かんじ	コンサートで感じたことをブログに書いた。	感覚
泣く	to cry	なく	子供が泣いている。	泣き虫
笑う	to laugh	わらう	コメディ映画を見て、たくさん笑った。	笑顔
許す	to permit	ゆるす	遅れたのに、笑って許してくれた。	許可
開く	to open	ひらく	そのイベントは毎年開かれる。	開発

資料2：学習者が提出した漢字シート 裏面（A4 サイズ、両面刷り）

まるごと 日本のことばと文化 中級 (B1) モジュール2 トピック3 (p.84)				
名前 ( )				
取る	take	とる	来月のコンサートのチケットを取る。	取引 (とりひき) dealings / transaction
<p>◆<sup>きもち</sup>気持ちを<sup>あらわ</sup>表す<sup>どうし</sup>動詞はどれですか。ほかにも<sup>きもち</sup>気持ちを<sup>あらわ</sup>す<sup>どうし</sup>動詞を調べてみましょう。</p> <p>怒る (to be angry)                      後悔する (to regret)                      悩む (to be worried)</p> <p>怖じる (おじる / to be scared)                      ほっとする (to be relieved)                      安心する (to be relieved)</p> <p>呆れる (あきれる / to be shocked)                      案じる (to be anxious)                      可愛がる (to adore)</p> <p>悲しむ (かなしむ / to grieve)                      煩がる (うるさがる / to be annoyed)</p> <p>◆<sup>す</sup>好きな<sup>かしゆ</sup>歌手/<sup>かんれん</sup>グループについて<sup>ことば</sup>関連のある<sup>しら</sup>言葉を調べてみましょう。(その<sup>みりよく</sup>魅力・<sup>す</sup>好きな<sup>りゆう</sup>理由)</p> <p>ほかにはない (unique) ・ 比類 (ひるい) のない (unequaled) ・ グローバル (global)</p> <p>純正 (じゅんせい/genuine) ・ ファンを大切に<sup>す</sup>する (cherishes the fan/s)</p> <p>多言語 (multilingual) ・ 完全な<sup>す</sup>パッケージ (full package)</p> <p>★このほかにも、あなたが<sup>し</sup>知りた<sup>し</sup>いと<sup>おも</sup>思<sup>かんじ</sup>った漢字のリストを作りましょう。</p>				

資料3：語彙ワークシート (A4サイズ、両面刷り)

(4) 文中の□の言葉とだいたい同じ意味の文を、A～Cから1つ選んで○をつけてください。

① 日本人は、相手の話を聞くとき、よくあいづちをうつ。  
 A. 置の内容について、自分の賛成の意見を言う。  
 B. 話の内容について、反対の意見を言う。  
 C. もっと相手の話を聞きたい気持ちで、うなづいたり外さくコメントしたりする。

② ブダベストにいる佐藤さんは、理屈の人と結構している。  
 A. ブダベストに住んでいる日本人  
 B. ハンガリー人  
 C. ブダベストにきた外国人

(5) あなたはカラオケでどんな歌を取りますか (fiction でもいいです)。  
 文の言葉を3つ以上使って、簡単な文章を作ってください。  
 [メロディ、歌詞、テンポ、リズム]

---



---



---



---



---

まるごと中級1 (B1) (Topic 3 -part2) ことばの学習 ②

名前 \_\_\_\_\_

(1) 正しい言葉を選んでください。

① 支店長の田中さんは、受付のキムさんの ( 上司・主任・職階 ) です。  
 ② わたしの ( 上手な・得意な・わりと ) 歌は、コブクロの「桜」です。  
 ③ 歌のはじめを間違えたので、( やりなおした・やりかえした・やりもどした )。  
 ④ 会話の ( 流し・流さ・流れ ) に気をつけて、練習しましょう。  
 ⑤ 彼が歌みたいって言ったから、私も ( つきあった・すきあった・いきあった )。  
 ⑥ 客「すみません。ビールを2本 ( ついか・すいか・さんか ) してください」  
 ⑦ カラオケは嫌だが、社長は嬉しいは ( やめられない・ことわれない・かえせない )。  
 ⑧ 嬉しいを ( うけたら・とったら・さんせいしたら )、必ずかなきゃ。

(2) ( ) に入る言葉を下の□の中から1つ選んで歌ってください。  
 1つの言葉は1回だけ使います。

① 楽器を ( ) 。  
 ② ギターやピアノを ( ) 。  
 ③ たいこを ( ) 。  
 ④ トランペット\*を ( ) 。 \*a trumpet

A. 演奏する B. 歌う C. 弾く D. 吹く E. たたく

(3) ( ) に動詞 (を、に、が、で、と、か…) を入れてください。「は」は入れません。

① おさけ ( ) 酔ったら、新曲が歌いたくなくなります。  
 ② 何を歌おう ( ) 送っています。  
 ③ 会社の同僚 ( ) カラオケ ( ) 誘いました。  
 ④ カラオケに行ったとき、歌いたくないのに、無理 ( ) 歌わされた。  
 ⑤ 「アニソンが好きだ」という友の言葉 ( ) びっくりした。

資料4：語彙チェックリスト (A4サイズ)

まるごと中級1\_B1 Topic 3 (Part 2) 語彙チェックリスト

check	ことば (Part 2)	意味	
<input type="checkbox"/>	カラオケ		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	上司		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	関係		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	学生時代		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	留学経験		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	～支店		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	支店長		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	赴任する		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	スタッフ		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	現地		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	面白い		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	参加する		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	留学する		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	日本式		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	カラオケボックス		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	酔う		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	アニソン		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	定着		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	あんまり～ない		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	得意な		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	無理		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	追加		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	例外		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	彙な		<input type="checkbox"/>

資料5：コース終了時アンケート 抜粋

Evaluation sheet for MARUGOTO: Japanese-Language & Culture Course  
(B1 Module 2)

Please rate the following aspects of the course. Check the rating that matches your assessment.  
Please use the rating scale below:

VS=very satisfied    SS=somewhat satisfied    SD=somewhat dissatisfied    VD=very dissatisfied  
If your rating is SD or VD, please give the reason.

	VS	SS	SD	VD
1 How was the course as a whole? REASON (if SD or VD):	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 Were you able to learn new vocabularies that you want to use personally?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

VU=very useful    SU=somewhat useful    NVU=not very useful    NUA=not useful at all

Please give the reason.

	VU	SU	NVU	NUA
3 How was the Kanji Sheet? REASON:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 How was the vocabulary / grammar exercise homework? REASON:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 How was the vocabulary check list? REASON:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 How was the word map & activity? REASON:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

E=Easy    ND=not so difficult    SD=somewhat difficult    VD=very difficult

Please give the reason.

	E	ND	SD	VD
7 How do you feel about studying kanji and vocabulary?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1. What was the best thing for you in this course?
2. What was the difficulty for you in this course?
3. Other comments/suggestions

Marning Salamut po! ©

資料 6 : コース終了後アンケート

We would like to know your reflections on the Marugoto B1 class.  
 The purpose of this questionnaire is to help students develop strategies for learning kanji and vocabulary.  
 Your cooperation is highly appreciated.

① I was able to get some ideas for learning kanji and vocabulary from the B1 class.  
 Agree  Neither  Disagree  
 If your answer is Agree, please share these ideas.

② My reading proficiency improved by attending the B1 class.  
 Agree  Neither  Disagree  
 Please write the reason(s) for your answer.

③ My speaking proficiency improved by attending the B1 class.  
 Agree  Neither  Disagree  
 Please write the reason(s) for your answer.

④ Please write your strategies in learning kanji and vocabulary.

Kanji	
Vocabulary	

⑤ How do you feel when you encounter unfamiliar Kanji while reading Nihongo texts (books, websites, etc.)?  
 (Please check all applicable answers)  
 I want to look up the kanji in a dictionary  
 I want to skip the kanji and continue reading  
 I want to guess the meaning of the kanji  
 I feel that I somewhat understand the meaning of the kanji  
 I want to stop reading

⑥ Have you learned new vocabulary from your classmates during the class activities?

Your cooperation is highly appreciated. Thank you!